

日本内分泌病理学会

理事会 議事録

日 時： 2007年6月14日(木) 11:50～12:50
会 場： 東京国際フォーラム 5F G-503 室
出 席： 佐野 壽昭 理事長、長村 義之、井上 金治、小澤 安則、
高見 博、笹野 公伸、成瀬 光栄、覚道 健一、加藤 良平、
寺本 明(代理出席：田原 重志)の各理事
高野 加寿恵 監事
上條 桂一 第11回学術集会会長(オブザーバー)
欠 席： 山下 裕人 監事
事務局： 岸、寒川
議 題：

<報告事項>

1. 2006年学術集会について
2. 2007年学術集会について
3. 2008年学術集会について
4. EPS (San Diego) について
5. ホームページの運用状況について
6. 会費納入状況について
7. その他

<審議事項>

1. 日本内分泌学会学術総会プログラムについて
2. 内分泌病理学会研究賞の規程の改訂について
3. 功労評議員制度の創設について
4. EPS との連携関係のあり方について
5. 国内外関連学会への参加について
6. 会員増加の方策について
7. その他

<その他>

学術総会関連の税金について

冒頭、佐野理事長より、代理出席も含め理事全員が出席となり定足数に達しているの
で本理事会は成立するとの報告があり、引き続き同理事長の司会により、予定された
議題について討議が行われた。

<報告事項>

1. 2006年学術集会について

- ・田原重志・寺本理事代理より、昨年11月に日本医科大学で開催された標記学会について、有料参加者91名を含め総数119名の参加者があり、収支はそれぞれ1,103,20円であったとの会計報告が行われた。また、同大学から助成金を受けたほか、会場費が無料であったことも報告された。

2. 2007年学術集会について

- ・上條会長より、標記学会は本年10月19日(金)～20日(土)にロイトン札幌で開催されることが報告され、特別講演、シンポジウム、クリニカルアワー等のプログラムについても触れた。なお、学会賞授与式の日時については今後調整する。
- ・一般演題が集まっていないので、至急応募願いたいとの要請があった。締め切り日は6月29日(金)。[その後、7月6日まで延長された。]
- ・理事会は19日の11時～12時、引き続き12時30分まで評議員会、夕方に総会が、それぞれロイトン札幌で予定されている。

3. 2008年学術集会について

- ・井上次期会長より、標記学会は2008年9月26日(金)～27日(土)に大宮ソニックシティで開催されるとの予告が行われ、特別講演、シンポジウム等プログラムを提案することが要請された。討論用に顕微鏡を用意する。

4. EPS (San Diego) について

- ・笹野理事より、3月に行われた標記学会のコンパニオンミーティングについて、診断や患者への説明事項等 practical な発表が多かったとの報告が行われた。また、来年の開催地は Denver との予告があった。

5. ホームページの運用状況について

- ・覚道広報担当理事より、特別な問題はないとの報告があり、掲載記事は寺本理事に依頼することが確認された。

6. 会費納入状況について

- ・現時点での会員数は約160名で、2007年度の会費納入者は42名であり、事務局から督促をかける予定である。[事後記載]2006年度の会員は165名で、会費納入者は103名であった。

7. その他

- ・EPS誌の出版社が変更になり、重複送付等引継ぎに混乱が見られるので、理事長から相手方に確認をする。

<審議事項>

1. 日本内分泌学会学術総会プログラムについて

- ・井上理事より、第81回学術総会プログラム委員会において、当分科会から提案の2テーマがシンポジウムに選ばれたとの報告があった。
- ・佐野理事長から、第82回のプログラム委員長に長村理事、第83・84回の委員に成瀬理事がそれぞれ内分秘学会理事会において承認されたことが報告された。

2. 内分秘病理学会研究賞の規程の改訂について

- ・成瀬庶務担当理事から提出された研究賞規程改訂案について意見交換が行われ、名称、対象年齢、選考方法等一部修正することになった。同理事が会則31条の「細則」として修正版を作成し、配布する。
- ・当賞の募集はホームページに掲載することとし、応募先および事務処理は、学術集会会長事務局が担当することが確認された。

3. 功労評議員制度の創設について

- ・佐野理事長より功労評議員に関する内規が示された。今後、ノミネート方法も含めて内規を固定するとともに、「功労評議員」を「会則」に盛り込み、会則改訂を総会に諮ることになった。これらの案作成は成瀬理事が担当する。

4. EPS との連携関係のあり方について

- ・今後も連携は続けることを確認した。

5. 国内外関連学会への参加について

- ・病理学会の会期中にコンパニオンミーティングを開催してはどうかとの意見があり、今後の検討課題とした。

6. 会員増加の方策について

- ・関連学会とリンクをとりながら、機会あるごとに入会を勧めることとし、200名を目指すことになった。

7. その他

- ・長村理事より、日本下垂体研究会が8月24日（金）～26日（日）に湘南国際村センターで開催されることが紹介された。

<その他>

学術集会関連の税金について

- ・佐野理事長より、源泉税、収益事業に対する税等、納税を怠りなくとの要請があった。
- ・上條会長から、税理士と相談のうえ適正に処理するとの意向が示された。
- ・将来の税調査に備えて、納税引当金の形で準備すべきとの意見もあった。

以上

(記録: 事務局 岸、理事長・庶務理事承認)